



2021年 7月26日

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 石川 亨
編集責任者: 村上 良智

過去の事故情報を教訓に人身事故の再発防止に努めよう！！

日頃より、私たち東北情報インフラユニオンの活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。
本格的な夏の始まりを迎え、気温の上昇や急激な天候変化による雷の発生、ゲリラ豪雨等作業環境の悪化が懸念される時期になっております。現場作業においてはそのような天候変化、現場環境等を踏まえ、現場にあった対策を行い、作業に従事する個人が「**自分の職場からは事故は発生さない**」との強い気持ちのもと、決められたことは守り、作業手順を遵守することで安全作業に努めましょう。

全国的に、転落・転倒といった重大人身事故に繋がりがねない人身事故が後を絶たない状況にあり、その多くは、過去に発生した事故と同様の内容も散見され、それらの事故の要因・原因を見れば作業員自身の近道行動や不安全行動等、作業手順の誤りが起因するものとなっております。更に7月に入り転落・転倒等と言った人身事故が後を絶たない状況が続いており、7月21日には愛知県名古屋市内においてバケット車から転落する重大人身事故（死亡事故）も発生しております。現場作業にあたっては、これまで発生した事故を「対岸の火事」ととられることなく、個人が作業手順の重要性を再認識し、近道行動や不安全行動を発見したら注意を行い、安全で安心して働ける職場作りに取り組むことを強く要請します。

尚、下表に2021年度上期に通建業界で発生した人身事故を記載しますので、KY実施時に共有する等再発防止に努めましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の発生から1年以上が経過しましたが、依然として収束が見通せない状況にあることから、引き続き、感染拡大防止に向けては、咳エチケットや手洗いの徹底、集団発生防止としては、「密閉空間・密閉場所・密接場所」の3密を避ける等、政府が示した「新しい生活様式」を踏まえ、感染症対策に努めていきましょう。

＜2021年度上期に発生した通建業界における人身事故＞

発生日	発生場所	発 生 事 由
R3.6.14 (※1)	京都府	バケット車をバックさせた際、後ろで誘導していたと思われる交通誘導員を誤って轢いてしまった。(死亡)
R3.6.14	福島県	片側交互通行で作業中、通行車両が交通誘導員に気付かず追突し交通誘導員が負傷。
R3.6.16 (※2)	福島県	作業員が梯子から降りる途中、お客様が作業を手伝おうと梯子に触れたことに驚き、咄嗟に梯子から飛び降りた際に、お客様と接触しお客様が負傷。
R3.6.18	岩手県	電動工具と鋼材の間に指が挟まれ負傷。
R3.6.19	長野県	ケーブルをかわすため穴建車のブームを下げた際、穴建車がバランスを崩し、その反動で吊り荷（電柱）が暴れ作業員にあたり負傷。
R3.6.25	福島県	バケット車から降りる際、ステップから足を滑らせ転倒し負傷。

※1 死亡事故 ※2 インフラ東北管内で発生した事故

無事故で 家族のもとへ笑顔で帰ろう！！

通建連合 一斉安全休工日実施結果について

今年 1 回目となる「一斉安全休工日(6 月)」実施に向けた取り組みとしては、発注者や各社の協力のもと、ポスター掲示や機関紙「きらめき」などを使用した啓蒙活動を実施しながら取り組みを展開してきました。

今回の「一斉安全休工日」の取り組みにおいては、これまで同様 6 月第二土曜日を対象日とし、かつ読替日が必要となる場合には、職場内で当月内の土曜日を設定し取り組んできた結果、「職務区分・人数割合」とも昨年平均を上回る結果となったものの、業務繁忙・お客様都合により未実施の方々も散見される結果となりました。

今後においても、設備運營業務等の休工が難しい職場の輪番体制等を含めた体制整備に向け積極的な労使議論を実施していくとともに、土曜日が休日となっていない協力会社の方々についても、休むことによりフレッシュを図り安全労働にも繋がるとの考えから協力要請を含めた啓蒙活動の取り組みを展開していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。なお、実施結果については下記の通りです。

【業務区分】

	TTK グループ	
	2020 年平均	2021 年 6 月 実施結果
実施(第 2 土曜日)	72.3%	74.1%
読替実施 (当月内土曜日)	22.5%	21.6%
未実施	5.2%	4.3%
実施結果 (読替含む)	94.8%	95.7%

	大和グループ	
	2020 年平均	2021 年 6 月 実施結果
実施(第 2 土曜日)	38.4%	44.6%
読替実施 (当月内土曜日)	53.6%	53.6%
未実施	8.0%	1.8%
実施結果 (読替含む)	92.0%	98.2%

【人員割合】

	TTK グループ	
	2020 年平均	2021 年 6 月 実施結果
実施(第 2 土曜日)	90.7%	93.5%
読替実施 (当月内土曜日)	8.1%	5.8%
未実施	8.0%	0.7%
実施結果 (読替含む)	92.0%	99.3%

	大和グループ	
	2020 年平均	2021 年 6 月 実施結果
実施(第 2 土曜日)	82.7%	90.2%
読替実施 (当月内土曜日)	14.5%	9.5%
未実施	2.8%	0.3%
実施結果 (読替含む)	97.2%	99.7%

情報労連 「労働安全衛生強化月間」の取り組み結果について

情報労連は、厚生労働省が実施している「全国安全週間」の準備期間を意識し、6 月 1 日～30 日の期間を「情報労連 労働安全衛生強化月間」に設定し、労働安全衛生に関するこれまでの総括並びに職場実態を踏まえた労働者の安全な職場環境改善と健康管理の促進等の安全衛生に関する取り組みを展開することとし、情報労連東北ブロックとしても、情報労連中央本部の要請を踏まえ、6 月を「労働安全衛生強化月間」に設定し、安全労働に対する意識の醸成や注意喚起に向け取り組みを実施することを決定してきました。

インフラ東北としても、東北管内において、重大人身事故を含め転落・転倒・建設機械使用による人身事故が発生していることを鑑み、現場第一線で働く方々への注意喚起・啓蒙活動が重要であると考えことから、朝礼等の場において情報労連東北ブロック作成の啓蒙グッズを手渡ししながら、安全労働に向けた注意喚起等を実施するとともに、現場作業従事者の方々との対話を重視した労使合同パトロール等を実施してきました。

ご協力頂いた皆様ありがとうございました。



TTKG 福島



モバイル事業本部



大和 G 青森



大和 G 岩手